

2023年度 通信教育実施計画

教科	外国語	科目	コミュニケーション英語Ⅰ	単位数： 3単位
指導目標:外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。教科書本文の読解を通じて異文化や様々な考え方を学ぶ。				
スクーリング	1単位時間×24回	合格時間数：5時間以上	教科書	東京書籍 All aboard! English Communication I
レポート	全9通	合格通数：9通	副教材	
メディア学習	全6通	合格通数：6通	単位認定試験対策プリント	4通
高校通信講座	あり	講座数：全20回	単位認定試験	12月 ※8月、1月、2月
評価	5段階評定、観点別評価の実施			

	単元・指導項目	指導内容	スクーリング	レポート	メディア学習 確認書		
4月	Warm-up1・2・3 アルファベット、教室で使う表現、辞書の使い方 Pre-Lesson1 My Name Is Kimura Yui (文法：be動詞現在形) Pre-Lesson2 I Like Japanese Comic Books (文法：一般動詞現在形)	アルファベットの綴りと発音の確認をし、身近な日常生活で使われる英語の単語を書き、発音を確認する。また、学校生活でよく使われる英語表現を理解させる。辞書の使い方では、見出し語・発音記号・品詞・変化形・意味・用例の調べ方に慣れさせる。be動詞(現在形 am/is/are)の使われている文の構造について理解させる。また、否定文や疑問文の作り方についても理解させる。一般動詞(現在形)の使われている文の構造について理解させる。また、否定文や疑問文の作り方についても理解させる。	前期12回	No. 1 No. 2 No. 3 提出	No. 1 No. 2 提出		
5月	Lesson1 This Is My House (文法：be動詞一般動詞過去形) Lesson2 My Favorite Hero (文法：進行形)	be動詞・一般動詞(過去形)の使われている文の構造について理解させる。また、否定文や疑問文の作り方についても理解させる。進行形の文の構造(be動詞+動詞の-ing形)と現在形・過去形との違いを理解させる。また、否定文や疑問文の作り方についても理解させる。					
6月	Lesson3 Cool Culture from Japan (文法：助動詞) Lesson4 A Miracle Mirror (文法：to不定詞)	助動詞が動詞だけでは表すことができない話し手の考えや感情を付け加えることができることを理解させる。助動詞(can, will)を用いた基本的な文の形を理解させる。to不定詞の3用法について理解させる。基本的な形(to+動詞の原形)を理解させる。					
7月	Lesson5 Finding My Future (文法：動名詞) Lesson6 A Funny Picture from the Edo Period (文法：受け身)	動名詞が動詞の性質を持ちつつ名詞的な働きをすることを理解させる。また、不定詞との違いを理解させる。基本的な形(-ing)を理解させる。能動態と受け身の違いを理解させる。受け身を使う場面と基本的な形(be動詞+過去分詞)を理解させる。				No. 4 No. 5 No. 6 提出	No. 3 No. 4 提出
8月	復習/単位認定試験※対象者のみ	半期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。					
9月	復習	半期の学習内容の復習					
10月	Lesson7 Living on Ice (文法：現在完了形)	現在完了形(have<has>+過去分詞)が、どの場合にも過去の動作や状態が現在まで続いていたり、現在に影響が及んでいたりすることをしっかり理解させる。また、基本的な3用法とその表す意味を理解させる。	後期12回	No. 7 No. 8 No. 9 提出	No. 5 No. 6 提出		
11月	Lesson9 Pigs from across the Sea (文法：関係代名詞主格)	関係代名詞は、直前にある名詞(先行詞)について、後ろから説明を付け加えるときに使われることを理解させる。この時間では、主格(who, which)のみ取り上げる。					
12月・1月	Lesson10 I Am Malala (文法：比較表現形容詞のみ) 11 文法のまとめ	2つ以上のものを比較するとき用いる比較表現(形容詞の原級・比較級・最上級)の形容詞の語形変化を理解させる。これまでに学習した文法の総復習する。				単位認定試験	
2月	復習	半期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。					

2023年度 通信教育実施計画

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅠ	単位数： 3単位
指導目標:外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。教科書本文の読解を通じて異文化や様々な考え方を学ぶ。				
スクーリング	1単位時間×24回	合格時間数：5時間以上	教科書	東京書籍 All aboard! English Communication Ⅰ
レポート	全9通	合格通数：9通	副教材	
メディア学習	全6通	合格通数：6通	単位認定試験対策プリント	4通
高校通信講座	あり	講座数：全20回	単位認定試験	12月 ※8月、1月、2月
評価	5段階評定、観点別評価の実施			

	単元・指導項目	指導内容	スクーリング	レポート	メディア学習 確認書		
4月	Pre-Lesson1 My Name Is Ito Neko (文法:be動詞現在形) Pre-Lesson2 I Like Junk Food!(文 法：一般動詞現在形)	be動詞（現在形 am/is/are）の使われている文の構造について理解させる。また、否定文や疑問文の作り方についても理解させる。自己紹介の本文の中で、名前・出身・有名な場所・趣味などが理解できているか確認する。一般動詞（現在形）の使われている文の構造について理解させる。また、否定文や疑問文の作り方についても理解させる。	前期12回	No. 1 No. 2 No. 3 提出	No. 1 No. 2 提出		
5月	Lesson1 Breakfast around the World (文 法：過去形) Lesson2 Australia's Cute Quokkas (文法：進 行形)	be動詞・一般動詞（過去形）の使われている文の構造について理解させる。また、否定文や疑問文の作り方についても理解させる。進行形の文の構造（be動詞+動詞の-ing形）と現在形・過去形との違いを理解させる。また、否定文や疑問文の作り方についても理解させる。					
6月	Lesson3 A Train Driver in Sanriku (文法：助動 詞) Lesson4 A Miracle Mirror (文法：to 不定 詞)	助動詞が動詞だけでは表すことができない話し手の考えや感情を付け加えることができることを理解させる。助動詞（can, will）を用いた基本的な文の形を理解させる。to不定詞の3用法について理解させる。基本的な形（to+動詞の原形）を理解させる。					
7月	Lesson5 Learning from the Sea (文法：動名詞) Lesson6 A Funny Picture from the Edo Period (文法：受け身)	動名詞が動詞の性質を持ちつつ名詞的な働きをすることを理解させる。また、不定詞との違いを理解させる。基本的な形（-ing）を理解させる。能動態と受け身の違いを理解させる。受け身を使う場面と基本的な形（be動詞+過去分詞）を理解させる。		No. 4 No. 5 No. 6 提出	No. 3 No. 4 提出		
8月	復習/単位認定試験※対 象者のみ	半期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。					
9月	復習	半期の学習内容の復習					
10月	Lesson7 A Diary of Hope (文法：比較表 現)	2つ以上のものを比較するとき用いる比較表現（形容詞・副詞の原級・比較級・最上級）の形容詞・副詞の語形変化を理解させる。	後期12回	No.7 No.8 No.9 提出	No. 5 No. 6 提出		
11月	Lesson8 A Door to a New Life (文法：現在 完了形)	現在完了形（have<has>+過去分詞）が、どの場合にも過去の動作や状態が現在まで続いていたたり、現在に影響が及んでいたたりすることをしっかり理解させる。また、基本的な3用法とその表す意味を理解させる。					
12月・1月	Lesson9 Fighting Pkastic Pullution (文法：分詞) Lesson10 Pigs from across the Sea (文法： 関係代名詞)	名詞を後ろから説明する分詞、現在分詞（動詞-ing）～している～、過去分詞（～される～）を理解させる。分詞は他の語句を伴って、直前の名詞を後ろから説明することを理解させる。関係代名詞は、直前にある名詞（先行詞）について、後ろから説明を付け加えるときに使われることを理解させる。この時間では、主格（who, which）のみ取り上げる。				単位認定試験	
2月	復習	半期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。					

2023年度 通信教育実施計画

教科	外国語	科目	英語入門	単位数： 2単位
指導目標:中学校で学ぶ英語の基礎、文法事項を学びなおし、英語の文の構造や文法の使い方について理解する。基礎的な英単語や熟語の意味や使い方、綴りを習得する。				
スクーリング	1単位時間×16回	合格時間数：4時間以上	教科書	啓林館 NEW 基本の英語 3rd Edition
レポート	全6通	合格通数：6通	副教材	
メディア学習	全6通	合格通数：6通	単位認定試験対策プリント	4通
高校通信講座	あり	講座数：全20回	単位認定試験	12月 ※8月、1月、2月
評価	5段階評定、観点別評価の実施			

	単元・指導項目	指導内容	スクーリング	レポート	メディア学習 確認書
4月	Warm Up1 書いてみよう ABC (アルファベット) Warm Up2 少年と愛 (文法:名詞) Warm Up3 私のお気に入りあれこれ (文法:代名詞) Lesson1 私は・・・です (文法: be 動詞) Lesson2 あなたはサッカー一歩ですか? (文法: be 動詞の否定文と疑問文)	アルファベットの綴りと発音を確認させる。英語の書き方のルールを確認し覚えさせる。名詞(加算・不加算)・数詞・代名詞を確認させる。be動詞(現在形 am/is/are)の使われている文の構造について理解させる。また、否定文や疑問文の作り方についても理解させる。	前期8回	No. 1 No. 2 提出	No. 1 No. 2 提出
5月	Lesson3 音楽が好き (文法:一般動詞) Lesson4 ギターを弾きません (一般動詞の否定文・疑問文)	一般動詞(現在形)の使われている文の構造について理解させる。また、否定文や疑問文の作り方についても理解させる。			
6月	Lesson5 昨日は忙しかった (文法: be 動詞・一般動詞の過去形) Lesson6 昨夜、ドラマを見た? Lesson7 彼女の職業は何ですか (文法: 疑問詞 + Yes/No 疑問文) Lesson8 だれが花びんを割ったの? (文法: 疑問詞 + 動詞...?/howを使った表現)	be動詞・一般動詞(過去形)の使われている文の構造について理解させる。また、否定文や疑問文の作り方についても理解させる。疑問詞の種類、語順の確認をさせる。「how + 形容詞/副詞」の疑問文の作り方を確認させる。			
7月	Lesson9 机の上に教科書があるよ (文法: there + be 動詞 + 名詞) Lesson10 コンピュータ使用中 (文法: 進行形)	主語の位置に注意させ、単数か複数かによってbe動詞の形が決まることも理解させる。また、否定文や疑問文の作り方についても理解させる。進行形の文の構造 (be動詞 + 動詞の-ing形) と現在形・過去形との違いを理解させる。また、否定文や疑問文の作り方についても理解させる。			
8月	復習/単位認定試験※対象者のみ	半期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。			
9月	復習	半期の学習内容の復習			
10月	Lesson11 翔太は来年、17歳 (文法: 未来を表す will/be going to + 動詞の原形) Lesson12 スージーはフランス語を話せる (文法: can/ may) Lesson13 1列に並ばないとね (文法: must/should)	助動詞が動詞だけでは表すことができない話し手の考えや感情を付け加えることができることを理解させる。 助動詞 will/be going to/can/may/should/mustを用いた基本的な文の形を理解させる。			

11月	Lesson14 このドラマは韓国で作られている（文法：受け身） Lesson15 コンサートは始まったばかり（文法：現在完了〈完了・結果〉） Lesson16 幽霊を見たことがありますか（文法：現在完了〈経験〉） Lesson17 先週の金曜からずっとかぜをひいている（文法：現在完了〈継続〉）	能動態と受け身の違いを理解させる。受け身を使う場面の基本的な理解をさせる。基本的な形（be 動詞+過去分詞）を理解させる。現在完了（have+過去分詞）が、どの場合にも過去の動作や状態が現在まで続いていたり、現在に影響が及んでいたりすることをしっかり理解させる。また、基本的な4用法とその表す意味を理解させる。	後期8回	No. 5 No. 6 提出	No. 5 No. 6 提出
12月・1月	Lesson19 マナとカナは同じくらい身長だ（文法：as+原級+as～） Lesson20 中国はオーストラリアより広い（文法：比較級+than～） Lesson21 孫さんは今、世界一のお金持ちだ（文法：the+最上級・・・in[of]～）	2つ以上のものを比較するとき用いる比較表現（形容詞と副詞の原級・比較級・最上級）を理解させる。		単位認定試験	
2月	復習	半期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。			